

おおもり



令和元年11月8日
東根市立大森小学校
学校だより87号

君たちなら必ずできる・・・！

山々も色づき、秋本番を感じる季節となりました。

先日のPTA教育講演会には、多数の保護者の皆さんにご参加いただき、実りのある時間を共有できましたことに心より感謝申し上げます。

また、先日説明させていただきました、来年度の「評価2回制」についても、前向きにご理解いただけましたことにも心より感謝申し上げます。それを受け、学校では、より子どもたちの成長を支援できる教育課程の編成に努めていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

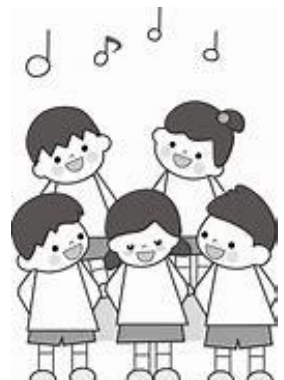
さて、昨日11月7日に市の音楽会に4年生が参加してきました。4年生の合言葉は「『心をついに』感動のハーモニーを！」です。4年生、138人一人一人から頑張ろうという思いが伝わってきて、その一生懸命さと歌声は、聞いている人を「笑顔にする、そして心にしみる素敵な合唱」だったと思いました。

ハーモニーを奏でる

ハーモニーとは、「一致」や「調和」の意味です。合唱や合奏では自分の持てる力を精一杯出すのは当然ですが、仲間のいろいろな声や音と合わせることも力を注ぐことをしなければなりません。その感じ取った仲間の声や音と「合わせよう」とする気持ちがお互いに生まれ、合唱や合奏ができあがっていきます。

ハーモニーをつくりあげる中での成長

子どもたちは、日々の練習、緊張感の中で本番の演奏をやりとげることとおして、学級や学年の仲間と、心を合わせることができていきます。リズムや音の強弱、音色を合わせて素晴らしいハーモニーを奏でる一つの音楽を作り上げるためには、歌の「出だしを合わせ」「音を合わせ」「声を合わせ」そして「心を合わせ」なければできません。子どもたちの活動の様子からは、いい音楽を作り上げるために懸命に心と音を合わせようとしている姿が見られます。



「見えないものを感じ取る力」や「心を合わせる力」といった力は、このような合唱や合奏での取り組みだけでなく、日常生活でいろいろな人と出会い、いろいろな出来事を経験する中でも培われ、調和の大切さ、他への気使いを学び、社会性を身につけていきます。

ほかの学年でも・・・！

明日、11月9日（土）は「学習発表会」です。

音楽会に参加した4年生はもちろんのこと、その他の学年でも、『見ている人に感動を伝えよう』という思いを持ち、学習発表会では学年独自の工夫を加えながら、劇や合唱・合奏・踊りなどに「心をついに」して頑張っている子どもたちの姿に、素敵な感動をもらっています。

君たちなら必ずできる・・・！

子どもたちは、様々な活動体験を通して、日々成長しています。

『体験』は、それをやり終えたとき、個々に「確かな自信」を育みます。また、「どうして」「なぜ」といった好奇心は学ぶ（活動）意欲を高め、さらに「もっとこうしてみたい」「これはどうなんだろう」といった深い学び（意欲）にもつながっていきます。そんな前向きに努力する子供たちが、これからも自信を持って様々な活動に挑戦できるように、私たち職員も、保護者の皆様や地域の方々と協力しながら、「自分を信じて」「仲間を信じて」・・・「君ならできるよ」と前向きな言葉かけがいっぱい飛び交う環境づくりに努めていきたいと考えています。 （校長 土屋 常 義）